

環境に優しい改質アスファルト

LCバインダーECO

Low Carbon

LCバインダーECOはストレートアスファルトと比較して、アスファルト混合物の**製造・締固め温度を低減**することができます。また、遠隔地や寒冷地などアスファルト混合物の温度が下がりやすい条件での**作業性の確保、再生骨材割合の向上**など多様な目的に適用できます。

LCバインダーECOの特徴

- 使用温度領域が広く、従来より低い温度で混合物の製造・施工が可能
- ストレートアスファルトの品質規格に適合
- 骨材加熱時における燃料消費量や二酸化炭素排出量の削減が可能
- ストレートアスファルトを用いた混合物性状が得られる

LCバインダーECOの適用

- ◆製造温度低減（燃料消費の低減によるCO₂の削減）
- ◆再生骨材の配合割合の向上あるいは施工性低下の改善
- ◆シックリフトなどの厚層施工の交通開放時間短縮
- ◆夏季の初期わだち抑制

LCバインダーECOの性状

LCバインダーは、JIS規格の針入度グレード60/80用に適合するECO7、80/100用に適合するECO10および150/200用に適合するECO20の3種類があります。

バインダーの性状は、それぞれ通常のストレートアスファルトとほぼ同等です。

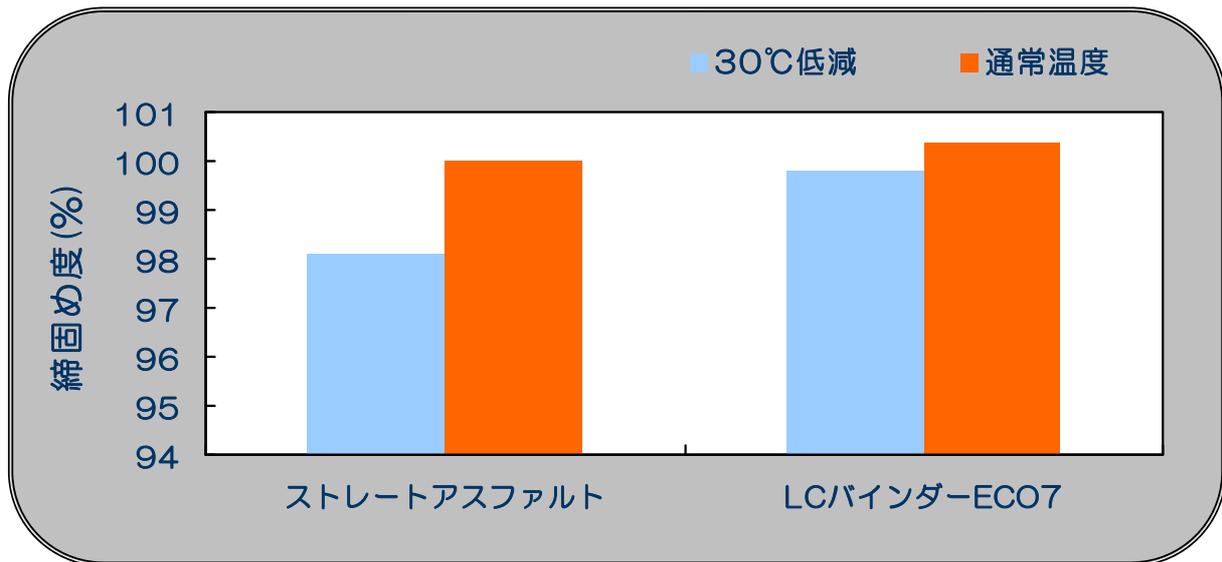
試験項目		ECO7 代表性状	ECO10 代表性状	ECO20 代表性状
針入度	1/10m m	67	92	194
軟化点	°C	45.5	43.0	42.5
伸度(15°C)	cm	100+	100+	100+
引火点	°C	343	345	316
密度(15°C)	g/cm ³	1.035	1.032	1.025

※LCバインダーECO20の出荷は、一部の工場に限られます。ご確認ください。

LCバインダーECOの締固め特性の改善効果

LCバインダーECOは、通常の設定温度あるいは設定温度から30℃下げて締固めても所定の締固め度が得られます。

密粒度混合物(13) の例



LCバインダーECOの使用方法和混合物の施工

- ・最適アスファルト量は、通常の配合設計法で得られる量とします。
- ・再生骨材を混入するあるいは特殊な混合物を用いる場合は、**室内試験により締固め特性を確認してから**使用してください。
- ・施工は、特別な場合を除き**一般的な機械編成と施工方法**で行ないます。
- ・推奨する舗装管理温度を以下に示します。

舗装管理温度	LCバインダーECO7・10・20
混合温度範囲	125~175℃
初期転圧温度	110℃以上
二次転圧温度	90℃以上

本社	〒106-0032 東京都港区六本木7-3-7	TEL 03 (3405) 1811代表
技術研究所	〒300-2622 茨城県つくば市要315-126	TEL 029 (877) 4150代表
北海道支社	〒007-0825 札幌市東区東雁来五条1丁目1-18	TEL 011 (781) 8511代表
東北支社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-3-30 損保ジャパン仙台一番町ビル	TEL 022 (225) 6591代表
関東支社	〒106-0032 東京都港区六本木7-3-7	TEL 03 (3423) 0231代表
北陸支社	〒951-8057 新潟市中央区月町1988番地 フレンドビル2F	TEL 025 (228) 5333代表
中部支社	〒461-0011 名古屋市東区白壁1-45 白壁ビル5F	TEL 052 (962) 1831代表
関西支社	〒556-0016 大阪市浪速区元町1-4-17	TEL 06 (6649) 2102代表
中国支社	〒732-0052 広島市東区光町2-14-16	TEL 082 (568) 2951代表
四国支社	〒760-0036 高松市城東町2-9-1	TEL 087 (851) 6611代表
九州支社	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-8-31 九州ビル6F	TEL 092 (471) 6936代表